

広域機関の大山でございます。発言の機会をいただきありがとうございます。

私からは、議題1に関しまして、3月13日に生じた広域機関システムのシステムトラブルについてお詫びを申し上げます。

3月13日未明に、中部・北陸・関西3エリアの中地域交流ループ運用化対応のためのプログラム改修に伴う広域機関システムの切替を実施しました。

システム切替自体は深夜のうちに無事終了し、13日朝の時点で、JEPX様からの市場約定データも正常受信できることを確認していましたが、その後、広域機関システム側のプログラム不備による受信データの誤検知が発生し、本機関として連系線潮流の基準値を正常に算出できなくなった関係で、機関内外の業務に影響を招いてしまうトラブルが発生しました。

システム切替にあたっては、あらかじめ関係者等に広く周知した上で、特別な監視体制を敷くモニタリング期間と位置づけていたため、同日朝10時頃のトラブル検出後、事前に定めた対応手順等に基づき直ちに対応に着手しましたが、問題の特定及び障害の是正・復旧による収束に5時間あまり要し、万が一に備えて用意していたコンティンジェンシープランを一部発動せざるを得ない状況となりました。

具体的な影響としては、コンティンジェンシープランに則り、①需給調整市場における3月13日取引分（3月14日実需給分）がエリア内のみの約定となりました。このほか、②翌日の下げ代確保のために本機関が行う長周期広域周波数調整については3月14日分の実施を見送る結果となり、また、③広域予備率（翌日・翌々日分）の公表についても、通常より約1時間半の遅延が発生いたしました。

なお当該トラブルは同日15時30分頃に終息し、現在も監視強化を継続しておりますが、以降、現在まで問題なくシステム稼働しております。

これを踏まえ、開発・試験プロセスの見直しを含めた再発防止策を深掘りしているところであり、類似の事象を再び発生させないよう、しっかり対応してまいります。

本件により、関係各位に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。